

12月19日（土）の定期便は、2地区での鍋パーティーと小学生向けの児童クラブ学習支援を行いました。前回引率させていただいた10月（運動会で19名の参加でした）とは異なり、今回は「復興論」の受講者が多数参加されたため、約50名の大所帯、補助席も使用しました。

事務局（2年2名、4年2名と河合）は6時半にボラセン前に集合し、7時20分に弘大正門前をバスが出発しました。いつものルートをたどり、10時すぎに野田村に到着しました。



今回の定期便は、鍋パーティー（交流茶話会）を北区町内会館と米田（まいた）地区集落センターの2カ所（それぞれ約20名ずつ）、小学生向けの学習支援を総合センター2階の児童クラブ室（10名弱）、合計3グループに分かれての活動でした。ちなみに、北区町内会館は村役場から徒歩5分くらいのところにありますが、初期の頃から参加されている市民の方も、初めて行かれたとのことでした。また、米田地区集落センターは村役場から海岸沿いに数キロ南下したところにあり、いつもお世話になっている村の社会福祉協議会の方が車で3往復のピストン輸送をして下さいました。大平さんをはじめ社協の皆様、ありがとうございました。

私は北区町内会館での鍋パーティーに参加したのですが、到着するとすぐに住民の方が「よく来てくれたね」と温かく迎え入れて下さいました。全員集合して挨拶をした後、調理組と住民の方との茶話会組に自然に分かれました。北区の鍋パーティーでは、市民の金さん

が一番の大活躍でした。新鮮な大根やゴボウなど大量に用意して下さっただけでなく、余興としてチマチョゴリを2着持参され、急きょ大学生にモデルになっていただきと並んで登場し、カラフルな生地や靴、座り方など、日本の人たちが意外と知らないことを説明して下さいました。



米田地区の鍋パーティーでは、小さなお子さんも参加されたそうです。微笑ましいですね。



学習支援ボランティアですが、参加した私のゼミ生に聞くと、大学生（こちらは全員が大学生でした）と参加してくれた小学生とがほぼ同じ人数だったため、お勉強を終えた後は、めいっぱい遊び、とても楽しかったそうです。唯一可哀想だったのは、美味しい鍋や市民の方が持ち寄って下さった食べ物を口にできなかったことでしょうか。

米田地区集落センターから村役場への移動時間など若干手間取ったものの、15時半に野田村役場を出発し、いつものルートをとって19時少し前に大学正門に到着し解散しました。この日の野田村では海風がとても強くとても寒かったですが、往路復路共に雪がほとんど

どなく、天候に恵まれた一日でした。

文責：河合正雄